



産山学舎 産山村立 義務教育学校

産山学園は
 ファースト
1st
 ステージ
 1～4年生 (48人)

4・3・2のステージ制
 セカンド
2nd
 ステージ
 5～7年生 (42人)

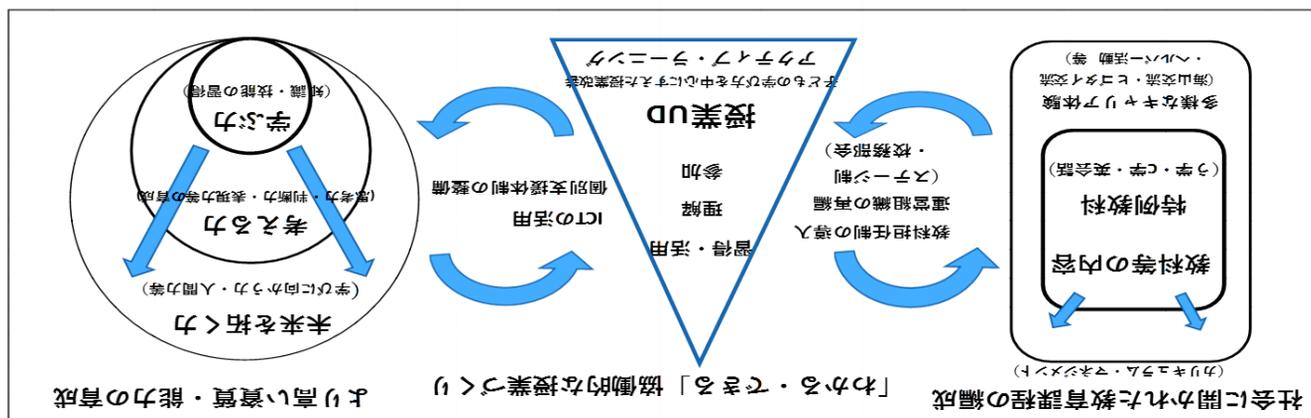
サード
3rd
 ステージ
 8・9年生 (25人)
 (児童生徒数 R元. 6月末現在)

目標とする児童生徒の姿
 進取の気持ちをもち、かかわりを深め合う学園生

学びや生活の
 基盤となる力

学びを追求し、
 人間関係をつくる力

学びを伸ばし、自分の
 生き方を追究する力



仲間とともに歩み、夢をつむぐ産山学園生の育成

We have a dream 産山学園校訓 学校教育目標

子どもの意欲を引き出すエンパワースクール

平成30年に旧産山中学校・産山小学校が一つとなり、義務教育学校『産山学園』として開校。

平成31年度は『目指す子ども像』として～進取の気持ちを持ち、かかわりを深め合う学園生～進んで課題に挑み、学び合う学園生【知】、自他のよさを認め、励まし合う学園生【徳】、心身ともに健やかに、高め合う学園生【体】産山に学び、誇り合う学園生【郷】の育成に取り組んでいる。



多様な キャリア体験

ヒゴタイ交流

子どもヘルパー活動

タイ国カセサート大学附属中学校との交換留学。肥後とタイ、村花ヒゴタイにちなみ、『ヒゴタイ交流』として今年で32年続き、相互派遣を通して国際親善、グローバル人材の育成を図っている。平成16年には第35回博報賞を受賞。

また、5・6年生の天草市御所浦との『海山交流』は、今年で31年を迎える。体験交流を通して地域理解を深めている。

平成12年から続く地域のお年寄り宅への訪問ボランティア『こどもヘルパー活動』は、地域活性化を図る活動として、平成18年に第37回博報賞を受賞。



特例教科

うぶやま学・チャレンジ学習・英会話

平成19年の産山小学校開校とともに構造改革特区認定による小中一貫教育がスタート。平成21年度には学校運営協議会の設置、学校支援地域本部事業を開始。ローカルオプティマムの理念のもと、平成30年度の義務教育学校開校後も地域との連携による総合的な地域学習『うぶやま学』、自学態度の育成を図り各種検定に挑む『チャレンジ学習』、小一からの系統的な英語教育『英会話』に取り組んでいる。